

日本語能力試験

レベルアップトレーニング 文法

坂本 勝信

本試験と同形式の問題を解きながら
文法力レベルアップ

N2

定着トレーニング

文法整理

弱点チェック



アルク
www.alk.co.jp

日本語能力試験

レベルアップトレーニング 文法

坂本 勝信

本試験と同形式の問題を解きながら
文法力レベルアップ

N2

定着トレーニング

文法整理

弱点チェック



はじめに

日本語能力試験は、日本語による「課題遂行のための言語コミュニケーション能力」を測ることを重視した試験です。この能力は、言語知識と、その知識を利用して「課題」を遂行する能力の二つからなります。文法は、文字・語彙とともに、「言語知識」に区分されます。

文法問題で得点を上げるためには、文法についての正確な知識を持つことはもちろんですが、その知識を実際に使って、実生活につながるさまざまな課題を遂行する能力をも鍛えることが大切です。本書には、本試験と同じ形式の問題を解きながら知識・ポイントを整理するとともに、実際の運用力や解答力を養う応用問題も多数収録してあります。

本試験では、文法の知識は、一文レベルと、一文を超えたレベルの二つの観点から捉えて、測定されます。具体的には、「文の文法1（文法形式の判断）」「文の文法2（文の組み立て）」「文章の文法」で構成されます。「文の文法1（文法形式の判断）」は、「文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができるかを問う」ことを目的とした大問で、問題形式は一文レベルの空所補充形式になっています。「文の文法2（文の組み立て）」は、「統語的に正しく、かつ意味の通る文を組み立てることができるかを問う」ことを目的とした大問で、問題形式は一文レベルの並べ替え形式になっています。「文章の文法」は、「文章の流れに合った文かどうかを判断することができるかを問う」ことをねらいとした大問で、問題形式として一文を超えたレベルの空所補充形式になっています。

本書では、「文の文法1（文法形式の判断）」「文の文法2（文の組み立て）」は、本試験と同形式の問題を数多く用意してあります。また、「文章の文法」についても、「使えるようになろう」の「書き換えよう」で、一文を超えた文章にあたることで、文章の流れをつかみながら読む訓練ができるようになっています。

ユニットは9つあり、各ユニットの最初に、力を試す問題があります。答え合わせをして、何ができて何を間違えたか、自分が苦手とする文法が何かを確認します。その上で解説を何度も読み、苦しい文法を確実に理解します。次に、その文法が運用できるようになるための「使えるようになろう」（書き換えよう／自分を表現しよう／こんな時どう言う？（ロールプレイ）／練習しよう）に取り組みます。3ユニットごとに設けた「確認問題」では、学習の定着度合いを測り、N2文法について理解を深めます。

日本語能力試験N2受験を考えている学習者の皆さんが、本書で学習することによって、文法をより理解し、課題遂行のための言語コミュニケーション能力を身につけていただければ、幸いです。

Preface

The Japanese-Language Proficiency Test places importance on measuring language communication skills in order to accomplish tasks in Japanese. These can be divided into two separate skills which are language knowledge and using this knowledge in practical communication. Grammar is divided into characters, vocabulary and language knowledge.

In order to improve your score in the grammar part of the Test, it is, of course, important to have an accurate knowledge of grammar but it is also important to use this knowledge to hone your skills in order to accomplish various tasks in real life situations. This book allows you to work through exercises that have the same format as the Test as well as organizing knowledge and points and it is compiled of many practical exercises that actually cultivate your answering skills both for the Test and for application in practice.

The Test measures grammatical knowledge on two levels: grammar in one sentence and grammar in more than one sentence. Specifically, this is composed of「文の文法 1 (文法形式の判断)」(Sentential Grammar 1 (Selecting Grammatical Form)), 「文の文法 2 (文の組み立て)」(Sentential Grammar 2 (Sentence Composition)) and 「文章の文法」(Text Grammar). 「文の文法 1 (文法形式の判断)」(Sentential Grammar 1 (Selecting Grammatical Form)) includes exercises with the purpose of checking whether you can select the grammatical form that matches the contents of the sentence and the question format is filling in the blanks in a sentence. 「文の文法 2 (文の組み立て)」(Sentential Grammar 2 (Sentence Composition)) includes exercises with the purpose of checking whether you can compose a syntactically correct sentence that makes sense and the question format is rearranging a sentence. 「文章の文法」(Text Grammar) includes exercises with the aim of checking whether you can decide if a sentence is in keeping with the flow of the text and the question format is filling in the blanks in a text with more than one sentence.

This book offers many exercises in the same format as the actual Test in 「文の文法 1 (文法形式の判断)」(Sentential Grammar 1 (Selecting Grammatical Form)) and 「文の文法 2 (文の組み立て)」(Sentential Grammar 2 (Sentence Composition)). In addition, this book provides 「文章の文法」(Text Grammar) reading training for understanding the flow of a text containing more than one sentence using 「書き換えよう」(Re-write) in 「使えるようになろう」(Master this).

There are 9 units each of which begins with questions that test your strengths. Answer the questions and check your answers to see what you understand, what you don't understand, what mistakes you make and your grammatical weak points. Furthermore, you can read the explanations as many times as you wish in order to completely understand your grammatical weak points. After that, you work on 「使えるようになろう」(書き換えよう/自分を表現しよう/こんな時どう言う? (ロールプレイ) /練習しよう) (Master this (Re-write/Talk about Yourself/What do you say in this situation? (Role Play)/Practice)) in order to practice the grammatical patterns.

There are 「確認問題」(Confirmation Exercises) every 3 units that measure how much you have learned and further your understanding of N2 grammar. I hope that readers who are considering taking the N2 Japanese-Language Proficiency Test will use this book to better understand grammar and to obtain language communication skills in order to accomplish tasks.

前言

“日本語能力測試”着重考核的是，为完成某项课题所必需的语言沟通能力。这个能力，既包括对语言知识的掌握，还包括用所掌握的这些语言知识来解决实际课题的能力。语法与文字、词汇一起，构成“语言知识”。

要想在语法问题上提高成绩，除了掌握正确的语法知识，提高运用语法知识解决实际沟通问题的能力更加重要。

本书在解答与考试真题相同形式问题的同时，还对知识要点进行了整理，并大量收编了各类应用问题，以提高实际运用能力和解答能力。

日本語能力測試中对语法知识的考核，有对单个句子语法和多个句子语法两个方面的考核。具体而言，由「文の文法1（文法形式の判断）」（句子语法1（语法形式的判断）」「文の文法2（文の組み立て）」（句子语法2（句子的构成）」「文章の文法」（文章语法）这三部分构成。「文の文法1（文法形式の判断）」（句子语法1（语法形式的判断）」考核的是，“语法与句子内容相符与否的判断能力”。出题形式是句子填空。「文の文法2（文の組み立て）」（句子语法2（句子的构成）」考核的是“能否全面正确地排列组成语意通达的句子”。出题形式是排出正确的句子语序。「文章の文法」（文章语法）考核的是“句子与文章文脉相符与否的判断能力”。出题形式是短文填空。

关于「文の文法1（文法形式の判断）」（句子语法1（语法形式的判断）」「文の文法2（文の組み立て）」（句子语法2（句子的构成）」，本书收编了很多与考试真题形式相同的模拟问题。针对「文章の文法」（文章语法），在「使えるようになろう」（学会应用）中的「書き換えよう」（进行替换练习）里，通过对文章的分析，达到一边把握文章的文脉，一边进行阅读练习的目的。

学习单元共有九个，在各单元最初都设置了模拟测验习题。通过核对答案，可以确认哪些是自己会做的、哪些是做错了的，哪些是比较薄弱的。通过反复阅读解说，进一步理解还较薄弱的语法项目。接着，为了实际运用语法，我们进入「使えるようになろう」（書き換えよう／自分を表現しよう／こんな時どう言う？（ロールプレイ）／練習しよう）（学会应用（进行替换练习／努力表达自我／这时该怎么说？（角色转换）／进行练习））。

在以每3个学习单元为单位设置的「確認問題」中，一方面检测掌握程度，一方面进一步理解N2的语法。

准备参加日本語能力測試（N2）的朋友，通过学习本书，如果您不但进一步地理解了语法知识，还掌握了完成课题所需要的语言沟通能力的话，这将是最大的荣幸。

머리말

일본어능력시험은 일본어를 구사하는 데 있어서의 <과제 수행을 위한 언어 커뮤니케이션 능력>의 측정을 중시한 시험입니다. 이 능력은 언어 지식과, 그 지식을 이용해서 <과제>를 수행하는 두가지 능력으로 이루어집니다. 문법은 문자·회화와 함께 <언어 지식>으로 구분됩니다.

문법 문제에서 점수를 올리기 위해서는 문법에 관한 정확한 지식을 갖는 것은 물론, 그 지식을 실제로 사용하여 실생활로 이어지는 다양한 과제를 수행하는 능력을 키워나가는 것이 중요합니다. 이 책에는 실제 시험과 같은 형식의 문제를 풀어나가면서 지식과 포인트를 정리하는 것과 동시에, 실제적인 운용능력이나 해답을 구하는 힘을 키울 수 있는 응용 문제도 다수 수록되어 있습니다.

실제 시험의 문법 지식에서는 1문장 레벨과 1문장을 넘는 레벨의 두 가지 관점에서 측정되어 집니다.

구체적으로는「文の文法1(文法形式の判断)」<문장의 문법1(문법 형식의 판단)>、「文の文法2(文の組み立て)」<문장의 문법2(문장의 조립)>、「文章の文法」<문장의 문법>으로 구성됩니다.「文の文法1(文法形式の判断)」<문장의 문법1(문법 형식의 판단)>은 <문장내용에 맞는 문법 형식인지 어떤지 판단할 수 있는가를 묻는다>는 것을 목적으로 한 문제로, 문제 형식은 1문장 레벨의 공란을 메우는 형식으로 되어 있습니다.「文の文法2(文の組み立て)」<문장의 문법2(문장의 조립)>은 <통어적으로 정확한 동시에, 의미가 통하는 문장을 만들 수 있는지를 묻는다>는 것을 목적으로 한 문제로, 문제 형식은 1문장 레벨의 배열을 바꾸는 형식으로 되어 있습니다.「文章の文法」<문장의 문법>은 <문장의 흐름에 맞는 문장인지 어떤지 판단할 수 있는가를 묻는다>는 것을 목적으로 한 문제이며, 문제 형식으로는 1문장을 넘는 레벨로, 공란을 메우는 형식으로 되어 있습니다.

이 책은「文の文法1(文法形式の判断)」<문장의 문법1(문법 형식의 판단)>、「文の文法2(文の組み立て)」<문장의 문법2(문장의 성립)>에 있어서, 실제 시험과 같은 형식의 문제를 다수 준비하였습니다. 또「文章の文法」<문장의 문법>에 관해서도「使えるようになろう」(사용할 수 있도록 하자)의「書き換えよう」(바꾸어 써 보자)에서 1문장을 넘는 문장을 접합으로써, 문장의 흐름을 파악하면서 읽는 훈련을 할 수 있도록 되어 있습니다.

단원은 9개로 구성되어 있으며, 각 단원의 서두에는 실력을 테스트하는 문제가 있습니다. 답을 맞추고 나서, 무엇이 맞았고 무엇이 틀렸는지, 자신이 잘 하지 못 하는 문법이 무엇인지를 확인합니다. 그리고 해설을 반복해 읽음으로써, 익숙하지 않은 문법을 확실히 이해할 수 있도록 합니다. 다음으로 그 문법을 잘 운용할 수 있도록 하기 위해서「使えるようになろう」(書き換えよう / 自分を表現しよう / こんな時どう言う? (ロールプレイ) / 練習しよう)(<사용할 수 있도록 하자> (바꾸어 써 보자 / 자신을 표현하자 / 이럴 때 어떻게 말하지? (역할극) / 연습해보자))를 해 보도록 합니다.

3개 단원마다 준비된「確認問題」(확인 문제)에서는 학습의 정착도를 고, N2 문법에 대해서 이해를 높이도록 합니다.

일본어 능력 시험 N2수험을 생각하고 있는 학습자 여러분이 이 책을 통한 학습으로, 문법을 보다 이해하고, 과제 수행을 위한 언어 커뮤니케이션 능력을 익힐 수 있게 되기를 바랍니다.

〈文の文法 2 (文の組み立て)〉

次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

例) 人から _____ ★ _____ いいふうに取れることもあれば、悪いふうに取れることもある。

- 1 言葉も 2 次第で 3 言われた 4 受け取り方

(正解: 4)

〈文章の文法〉

次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、1 から 5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

読書を必要ないとする意見の根拠^{こんきょ} (注) として、1-a よりも、1-b ことが大事だという論がある。これは、根拠のない論だ。体験することは、読書することとまったく矛盾^{むひん}しない。本を読む習慣を持っている人間が多くの体験をすることは、まったく難しくはない。2 いろいろな体験をする動機づけを読書から得ることがある。

たとえば、藤原新也^{ふじわらしんや}のアジア放浪^{ほうろう}の本 (『印度放浪^{いんどほうろう}』朝日新聞社、など) を読んで、アジアを旅したくなる若者がいる。本に 3 旅をするというのはよくあることだ。あるいは考古学の本を読み、実際に遺跡掘りの手伝いに行く者もある。読書 4 体験する世界は広がってくる。

それ以上に重要なことは、読書を通じて、自分の体験の意味が確認されるということだ。本を読んでいて「自分と同じ考えの人がここにもいた」という気持ちを味わうことは多い。まったく生まれも育ちも違うのに、同じ考えを持っている人に会えると、自分の考えが 5 気がする。自分ではほんやりとしかわからなかった自分の体験の意味が、読書によってはっきりとすることがある。「あれはこういう意味だったのか」と腑に落ちることが、私は読書を通してたくさんあった。(後略)

(注) 根拠^{こんきょ}: 理由

(斎藤孝「読書力」岩波新書による)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ① 1 a 読書をする b 体験する | 2 a 説明をする b 体験する |
| 3 a 体験する b 読書をする | 4 a 体験する b 説明をする |
| ② 1 せっかく | 2 むしろ |
| 3 といえば | 4 なかなか |
| ③ 1 誘わせて | 2 誘ってあげて |
| 3 誘われて | 4 誘ってくれて |
| ④ 1 がきっかけとなって | 2 をはじめとして |
| 3 からすると | 4 に対して |
| ⑤ 1 否定される | 2 肯定させる |
| 3 否定させる | 4 肯定される |

本書の使い方

本書は、以下のような構成になっています。よく読んで学習を進めましょう。

力試しテスト

能力試験と同じ形式の問題（文の文法1・2）を20問解いてみます。



ポイントを整理しよう

各問題について、答え合わせをし、「ポイント」を読んで、理解を深めます。
特に、間違えた問題、わからなかった問題は、よく確認しておきましょう。



使えるようになろう

「力試しテスト」に出てきた文法を運用できるように練習します。

実際に使ってみることで、理解がより深まります。

書き換えよう

文章を読み、やさしい言葉で書かれた日本語をN2の文法に言い換える練習をします。「文章の文法」の勉強にも役立ちます。

自分を表現しよう

あなた自身の体験や意見を与えられた文法を使って、表現します。

こんな時どう言う？ (ロールプレイ)

Aさん、Bさんになりきって、会話を作ります。その際、学習したN2文法を使います。

練習しよう

話しかけられたことにN2の文法を使って、すぐに答える練習です。

「使えるようになろう」正解・解答例・解説

各練習がどのくらいできたかを確認すると同時に、読んだ後、再度練習します。



確認問題

3ユニットごとに50問ずつの問題が用意されているので、
文法をきちんと理解し、使えるようになったかをチェックします。

「確認問題」正解・解説

「確認問題」の答え合わせをしながら、解説を読み、理解を確実なものにします。

本書はN2の文法を中心に扱っていますが、N3の文法も取り上げていますので、よく復習しましょう。

